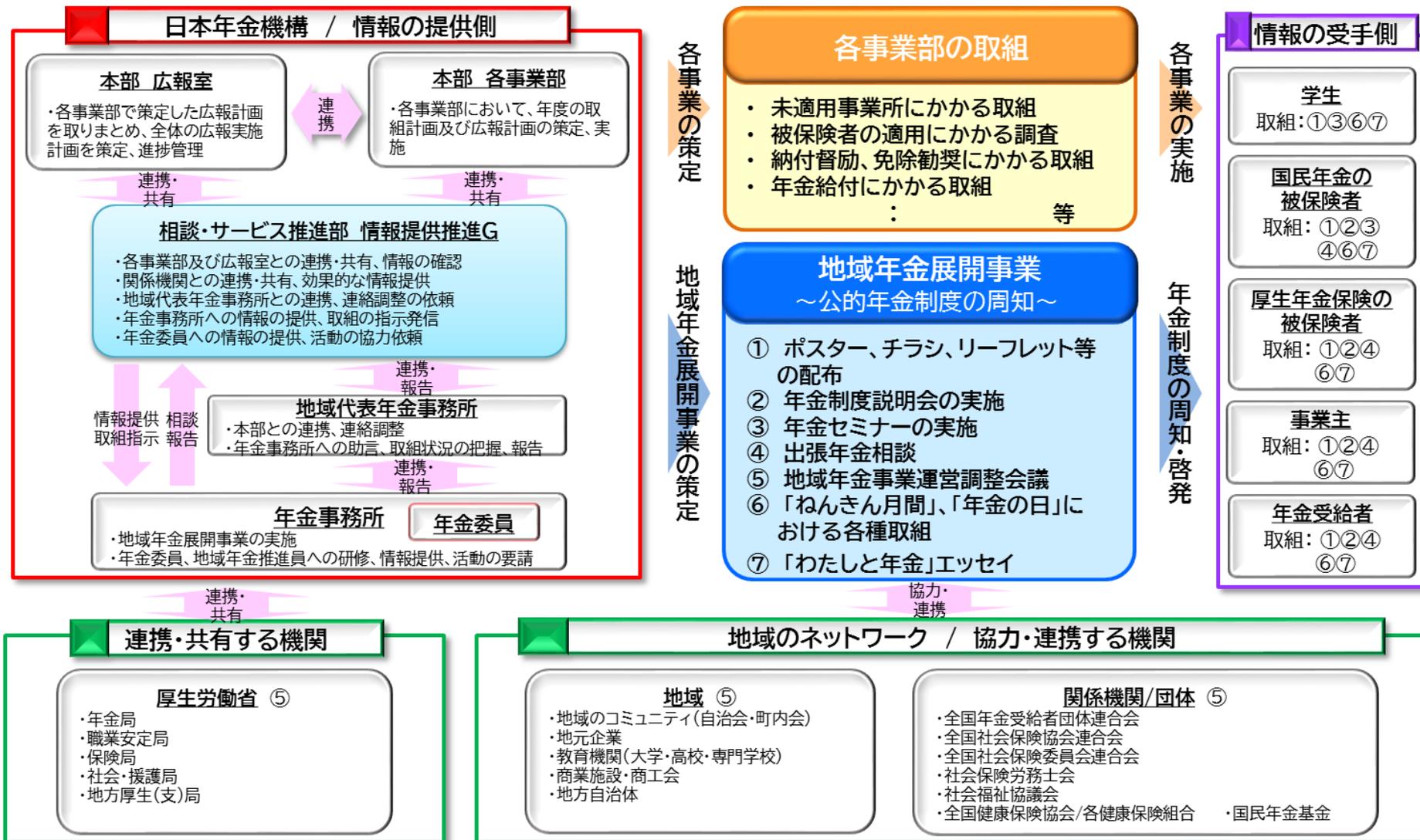


第23回 青森県
地域年金事業運営調整会議(資料)

令和6年7月25日
青森年金事務所

| | |
|------------------------|-------|
| 1. 地域年金展開事業の概要 | 3 P |
| 2. 令和5年度事業結果 | 5 P |
| 3. ねんきん月間および年金の日の取り組み | 1 3 P |
| 4. 前回の会議で出た意見および課題への対応 | 1 4 P |
| 5. 令和6年度事業方針 | 1 6 P |

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)



1. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《取組内容》

| | |
|--------------|--|
| 地域連携事業 | <ul style="list-style-type: none">・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。 |
| 年金セミナー事業 | 職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談、学生納付特例制度の申請窓口の開設およびパンフレットの掲示や設置並びに配付の依頼等。 |
| 地域相談事業 | 年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。 |
| 年金委員活動支援事業 | 年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。 |
| 地域年金事業運営調整会議 | 公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。 |

2. 令和5年度事業結果（1/8）

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|--------|-------------|---|
| 地域連携事業 | (1) 年金制度説明会 | <ul style="list-style-type: none"> ①厚生年金加入事業所の事務担当者等に対する制度説明会を対面およびオンラインにより実施した。（8回、219人） ②コミュニティFM局のラジオ番組での年金制度説明を実施した。（2回） |
| | (2) 市町村との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ①県内全市町村の理事者（首長）等へ公的年金事業に関して情報提供および意見交換を行った。 ②市町村国民年金事務担当者へ国民年金事務および年金給付事務に係る研修を各年金事務所において半期ごとに実施した。（16回） ③市町村国民年金事務担当者向け情報誌「かけはし」を発行し、年金制度内容、事務手続きおよび日本年金機構における事業について周知した。（6回） ④市町村広報誌に年金制度に関する記事を掲載していただいた。（40市町村、315回） ⑤市町村のケーブルテレビで年金制度に関する情報を放送していただいた。（1町、11回） ⑥庁舎内に各種ポスターの掲示、リーフレット設置および配布をしていただいた。 （予約による年金相談、「わたしと年金」エッセイ、年金月間（年金の日）、ねんきんネット） ⑦成人式で国民年金制度に関するリーフレットを配布していただいた。（25市町村） |

2. 令和5年度事業結果（2/8）

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|--------|------------------|---|
| 地域連携事業 | (3) ハローワークとの連携 | <p>①ハローワークで実施している離職者に対する初回説明会において国民年金加入および保険料納付について説明を行った。（1ハローワーク、26回）</p> <p>②上記以外のハローワークでは、初回説明会において国民年金加入および保険料納付のリーフレットを配布していただいた。</p> <p>③アシストハローワークにおいて離職予定者に対する国民年金加入および保険料納付について説明を行い、終了後に個別相談を行った。（14回、68名）</p> |
| | (4) 関係機関・団体との連携 | <p>①青森県社会保険労務士会および支部主催の研修会へ講師を派遣した。（4回）</p> <p>②一般財団法人青森県社会保険協会発行の会報誌「社会保険あおもり」に年金制度に関する記事を掲載していただいた。（6回）</p> <p>③一般財団法人青森県社会保険協会主催の研修会等へ講師を派遣した。（6回）</p> <p>④青森県社会保険委員会連合会および弘前・下北社会保険委員会主催の研修会等へ講師を派遣した。（3回）</p> |
| | (5) 「わたしと年金」エッセイ | <p>①中学生以上を対象に公的年金の大切さ、応募者ご自身やご家族との公的年金制度のかかわり、公的年金についての考えなど、公的年金制度をテーマにしたエッセイを募集した。</p> <p>【後援】厚生労働省、文部科学省、全国高等学校長協会、全国都道府県教育委員会連合会</p> <p>【応募数】一般80名（青森県2名）、学生1,529名（青森県なし）</p> |

2. 令和5年度事業結果（3/8）

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|--------|--------------------|--|
| 地域連携事業 | (5) 「わたしと年金」エッセイ | <ul style="list-style-type: none"> ②青森県教育委員会および青森県総務部総務学事課（現在は組織改編により青森県子ども家庭部県民活躍推進課）から市町村教育委員会、県立高等学校および私立高等学校・中学校へエッセイ募集を周知していただいた。 ③市町村教育委員会から公立中学校へエッセイ募集を周知していただいた。 ④県内の高等学校および中学校へ文書による応募依頼を行った。 ⑤青森県商工会議所連合会および青森県商工会連合会から商工会議所および商工会へエッセイ募集を周知していただいた。 ⑥県内市町村、商工会議所および商工会にポスター掲示およびリーフレットを設置していただいた。 |
| | (6) 青森県年金ポスターコンクール | <ul style="list-style-type: none"> ①県内の中学生を対象に公的年金を身近に感じていただき、公的年金制度への参加意識を醸成することを目的に、「年金」をテーマとしたポスターを募集した。 【後援】厚生労働省東北厚生局、青森県教育委員会、株式会社東奥日報社、青森県社会保険労務士会、一般財団法人青森県社会保険協会 【応募数】5校、8作品 ②青森県教育委員会および青森県総務部総務学事課（組織改編により現在は青森県子ども家庭部県民活躍推進課）から市町村教育委員会および私立中学校へポスターコンクール開催を周知していただいた。 ③市町村教育委員会から公立中学校へポスターコンクール開催を周知していただいた。 ④県内の中学校へ文書および電話による応募依頼を行った。 |

2. 令和5年度事業結果（4/8）

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|--------|--------------------|---|
| 地域連携事業 | (6) 青森県年金ポスターコンクール | <p>⑤令和6年1月から3月の期間、各年金事務所において入賞作品を展示した。 ⑥一般財団法人青森県社会保険協会の会報誌「社会保険あおもり」表紙に過去の年金ポスターコンクール入賞作品を掲載していただいた。（6回）</p> <p>～令和5年度（第3回）青森県年金ポスターコンクール入賞作品～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div data-bbox="826 611 948 639">最優秀賞</div> <div data-bbox="1122 611 1213 639">優秀賞</div> <div data-bbox="1387 611 1477 639">優秀賞</div> <div data-bbox="1651 611 1742 639">特別賞</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div> |

2. 令和5年度事業結果（5/8）

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|----------|---------------|--|
| 年金セミナー事業 | (1) 年金セミナーの開催 | <p>①高校生や大学生をはじめとする若い世代が、年金の正しい知識や手続に触れ、公的年金制度が身近で重要なものであると理解していただき、適正な加入や保険料納付等に結び付けるため、教育機関と連携し、学生などの若年者層に対して年金セミナーを開催した。</p> <p>【開催状況】63校（46.3%）対面60校、非対面1校、DVD視聴2校 前年度比－11校（－2.4%）</p> <p>②年金セミナー開催にあたり、青森県教育委員会および青森県総務部総務学事課（組織改編により現在は青森県こども家庭部県民活躍推進課）から県内高等学校に対して年金セミナー開催を周知していただいた。</p> <p>③年金事務所では地域年金推進員に協力いただき、管内の教育機関に対し文書、電話および訪問による年金セミナー開催のアプローチを行った。</p> <p>④年金セミナー講師を担当する若手職員は、講師養成研修の受講およびリハーサルを行いプレゼンテーション能力の向上を図った。</p> |
| | (2) 制度周知協力依頼 | <p>①大学の構内に国民年金保険料学生納付特例のポスターの掲示、リーフレットの設置および配布していただいた。（3校）</p> <p>②大学の構内で学生納付特例に係る制度説明会および相談会を開催した。（2校）</p> |

2. 令和5年度事業結果（6/8）

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|--------|-----------------------------------|---|
| 地域相談事業 | (1) 出張年金相談の開催 | <p>①年金事務所から遠隔のお客様の利便性向上や市町村の要望により、出張年金相談を開催した。また、街角の年金相談センター青森（オフィス）から社会保険労務士等の相談対応者を派遣していただいた。</p> <p>【開催状況】6市町、55回、相談件数547件</p> <p>②市町村の広報誌に出張年金相談のスケジュールを掲載していただいた。</p> <p>③一般財団法人青森県社会保険協会の会報誌「社会保険あおもり」に出張年金相談のスケジュールを掲載していただいた。</p> |
| | (2) ねんきんネット等を活用した個人向けオンラインサービスの推進 | <p>①ネットチャネルの拡大によるお客様の利便性向上を図るため、事業主・被保険者・年金受給者に対するねんきんネット等を活用した各種個人向けオンラインサービスの利用促進に取り組んだ。</p> <p>②マイナンバーカードの普及を踏まえ、令和4年度以降はマイナポータル経由のねんきんネットユーザーID取得を中心とした取り組みを実施した。</p> <p>【ねんきんネット新規ID取得】13,194人（前年度比+3,106人）</p> <p>③ねんきんネットをネットチャネルの中心と位置付け、加入・納付・免除・申請・通知・情報照会に係る個人の手続をオンラインで行える環境を構築するための機能拡充を実施した。</p> <p>【オンラインサービス（ねんきん定期便、控除証明書、源泉徴収票、免除・納付猶予、学生納付特例）の利用・登録件数】11,256件（前年度比+6,599件）</p> |

2. 令和5年度事業結果（7/8）

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|----------------|--------------|---|
| 年金委員活動 支援事業 | (1) 年金委員研修会 | <p>①職域型年金委員に対する研修会を開催した。（6回、543名）</p> <p>②地域型年金委員に対する連絡会および研修会を開催した。（2回、72名）</p> <p>③職域型年金委員および地域型年金委員を対象とした全国年金委員研修を開催した。東京参集型には職域型年金委員1名および地域型年金委員1名に出席していただいた。また、職域型年金委員には事業所からオンラインで参加いただき、地域型年金委員は各年金事務所でのテレビ会議で参加していただいた。</p> |
| | (2) 情報提供 | <p>①年金委員活動の活性化に向け、年金委員が普及・啓発活動を行うために広報誌を活用し必要な情報を発信した。（職域型年金委員向け広報誌「スマイル」2回、地域型年金委員向け広報誌「支え合い」4回）</p> <p>②広報誌のほか、以下のガイドブックおよびリーフレット等を配布した。「知っておきたい年金のはなし」、「退職後の年金手続きガイド」、「高齢・障害・遺族年金ガイド」、その他年金委員が希望するリーフレット</p> |
| | (3) 年金委員委嘱拡大 | <p>①新規加入事業所および被保険者50人以上の未設置事業所に対して、文書、電話および訪問による勧奨を行い、職域型年金委員135名を委嘱した（うち被保険者50人以上は67名）。</p> <p>②市町村および教育機関等に対して勧奨を行い、地域型年金委員13名を委嘱した。</p> <p>③全国健康保険協会青森支部から、健康保険委員の委嘱を受けている方に対し、年金委員制度を周知していただいた。</p> |

2. 令和5年度事業結果（8/8）

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|----------------|---------------|--|
| 年金委員活動 支援事業 | (4) 年金委員功労者表彰 | <p>①多年にわたり、政府管掌年金事業の推進・発展に貢献された年金委員の方々に対し、年金委員功労者表彰伝達式を全国健康保険協会青森支部、一般財団法人青森県社会保険協会および青森県社会保険委員会連合会と共同で開催した。</p> <p>【開催日】 令和5年11月21日（火）</p> <p>【場所】 ホテル青森</p> <p>【受賞者】 厚生労働大臣表彰1名、日本年金機構理事長表彰4名、日本年金機構理事表彰8名</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div> <p>※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。</p> |

3. ねんきん月間および年金の日の取り組み

青森県におけるねんきん月間および年金の日の取組事例

日本年金機構では、厚生労働省と協力して国民の皆さまに公的年金を身近に感じていただき、年金制度に対する理解を深めていただくよう、11月を「ねんきん月間」と位置付け、公的年金制度の普及・啓発活動を展開している。

また、国民お一人お一人にねんきんネットを利用して年金記録や年金受給見込額を確認していただき、高齢期に備え、その生活設計に思いを巡らしていただくことを目的として、厚生労働省において、平成26年度より11月30日（いいみらい）を「年金の日」に制定し、公的年金制度に対する理解を深めていただく取り組みを実施している。

①「ねんきん月間」「年金の日」の周知

- 日本年金機構ホームページにおいて、各年金事務所の取り組みを周知した。
- 市町村の庁舎内に年金の日のポスターの掲示、ねんきん月間およびねんきんネットのリーフレットを設置していただいた。
- 県政記者クラブへねんきん月間にかかる情報提供を行った。

②各年金事務所の取り組み

- 各年金事務所において、年金セミナー、制度説明会、出張年金相談を開催した。
- 八戸年金事務所では、城下保育園、こばとこども園の園児に「大切な人（おじいちゃん、おばあちゃん）」をテーマに似顔絵を描いていただき、78作品を年金事務所内に展示した。



○城下保育園園児の作品



○こばとこども園園児の作品



4. 前回の会議で出た意見および課題への対応 (1/2)

| 事業名 | 意見・課題事項 | 対応状況 | 備考 |
|------------|--|---|----|
| 地域年金展開事業全般 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 資料に記載されている取り組みは全国で行われているものか。 (2) 青森県での研修会・セミナーの開催状況は全国と比較してどうなのか。 (3) 機構におけるSNSを活用した取り組みを知りたい。 (4) 他の年金事務所での独自取組を情報共有しながら取り組みを進めてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 八戸年金事務所における園児による似顔絵展、青森県年金ポスターコンクールは独自の事業である。【回答済み】 (2) 青森県は標準的な回数である。【回答済み】 (3) 機構公式X (旧Twitter) を活用した制度周知を図っている。フォロワーが7万人いるが今後フォロワーを増やして、より簡単に迅速に制度周知できるように取り組んでいきたいと思っている。【回答済み】 (4) 各年金事務所で地域の特性を活かしながら年金制度の普及を図る。【回答済み】 | |
| 地域連携事業 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度のハローワークにおける説明会の開催状況を知りたい。 (2) 令和5年5月を境にコロナ対応が変わっているのを改めてハローワークへ相談してほしい。 (3) 市町村職員への研修について、対面とオンラインのハイブリット方式を取り入れてはいかがか。 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年度はハローワークむつにおいて開催の了解をいただいた。【一部対応済み】 (2) 令和5年度本会議終了後に各ハローワークに相談したが、時間を確保できないとの理由により一部開催できていない。ハローワーク野辺地については今後改めて相談を予定している。【一部対応中】 (3) 使用する研修資料によっては、オンラインで開催できないケースがある。【回答済み】 | |

4. 前回の会議で出た意見および課題への対応（2/2）

| 事業名 | 意見・課題事項 | 対応状況 | 備考 |
|------------------|---|---|----|
| 年金セミナー事業 | <p>(1) 「令和5年度の年金セミナー開催割合を4年度以上とする」という目標を達成するためにネックになっている事は何か。</p> <p>(2) マスコミを活用し年金セミナーの開催をPRすることも有効である。</p> | <p>(1) 青森県内の高等学校では3年生を対象とした学校が多く、「進学校だから時間が確保できない」との理由により開催いただけないケースがある。その場合は、「1・2年生でも可能である」等のお話をしている。【回答済み】</p> <p>(2) 今後検討したい。【検討中】</p> | |
| 年金委員活動支援事業 | <p>(1) 「市町村職員および教育機関職員への委嘱拡大」とはこの方々が引き受けてくれ易いということか。</p> | <p>(1) 各関係機関等今まで公的年金に関係があり、理解を得易いことからアプローチを行っている。【回答済み】</p> | |
| その他（国民年金保険料納付状況） | <p>(1) 令和4年度の全国の国民年金保険料年齢別の納付率で、25～29歳は20～24歳より低い。この年代の下げ幅を減少することによって、最終60歳時の納付率がもっと上がってくると思う。この層へのアプローチはどのように行っているのか。</p> <p>(2) 青森県の全額免除、納付猶予の割合が高い理由は何か。</p> | <p>(1) 離職者に対する国民年金への加入、保険料納付、免除申請を様々なタイミングで行っている。【回答済み】</p> <p>(2) 県民所得が低い、免除申請勧奨の効果と考えている。【回答済み】</p> | |

○各事業への取組方針

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|--------|---|---|
| 地域連携事業 | <p>(1) 被保険者、事業主および年金受給者等に対する年金制度説明会を行い、公的年金制度の周知・啓発活動を行う。</p> | <p>①被保険者、事業所、年金受給者等の枠にとらわれず、様々な機会を活用し制度説明会について案内を行う。</p> |
| | <p>(2) 市町村と連携し、公的年金制度の周知・啓発活動を行う。</p> | <p>①市町村の理事者（首長）等へ公的年金事業に関して情報提供および意見交換を行う。 ②市町村の国民年金事務担当者に対する研修の開催および情報誌を活用した情報提供を行う。 ③市町村に協力いただき、庁舎内へのポスター掲示、リーフレット設置および配布により、一般住民に対する公的年金制度の周知・啓発を行う。 ④市町村に協力いただき、広報誌等を活用した公的年金制度の周知・啓発を行う。</p> |
| | <p>(3) 関係機関・団体と連携し、公的年金制度の周知・啓発活動を行う。</p> | <p>①ハローワークと連携し、離職者に対する国民年金加入手続き等の周知および相談会を開催する。 ②関係機関・団体主催の研修会等へ講師派遣を行う。 ③関係機関・団体に協力いただき、会報誌等を活用した公的年金制度の周知・啓発を行う。</p> |

○各事業への取組方針

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|--------|---|--|
| 地域連携事業 | (4) 中学生以上を対象に公的年金の大切さ、応募者ご自身やご家族との公的年金制度のかかわり、公的年金についての考えなど、公的年金制度をテーマにしたエッセイを募集する。 | <p>【後援】厚生労働省、文部科学省、全国高等学校長協会、全国都道府県教育委員会連合会</p> <p>【募集期間】令和6年6月3日～9月9日</p> <p>①青森県教育委員会および青森県こども家庭部県民活躍推進課に協力をいただき、高等学校および中学校に対し文書によるエッセイ募集を周知する。</p> <p>②市町村、青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会に協力をいただき、エッセイ募集を周知する。</p> |
| | (5) 県内の中学生を対象に公的年金を身近に感じていただき、公的年金制度への参加意識を醸成することを目的に、「第4回青森県年金ポスターコンクール」を開催する。 | <p>【後援】厚生労働省東北厚生局、青森県教育委員会、株式会社東奥日報社、青森県社会保険労務士会、一般財団法人青森県社会保険協会、全国国民年金基金青森支部</p> <p>【募集期間】令和6年6月3日～9月17日</p> <p>①青森県教育委員会および青森県こども家庭部県民活躍推進課等に協力をいただき、中学校に対し文書、電話および訪問によるポスター募集を周知する。</p> |

5. 令和6年度事業方針（3/4）

令和6年7月25日
青森年金事務所

○各事業への取組方針

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|----------|---|---|
| 年金セミナー事業 | <p>(1) 高校生や大学生をはじめとする若い世代が、年金の正しい知識や手続きに触れ、公的年金制度が身近で重要なものであると理解することは、地域年金展開事業の核となる重要な取り組みとなるため、各種教育機関と連携し年金セミナーを開催する。また、対象校に対する開催割合を令和5年度の実績である46.3%を上回るよう努める。</p> | <p>①青森県教育委員会および青森県子ども家庭部県民活躍推進課等に協力をいただき、各種教育機関に対し文書、電話および訪問による年金セミナー開催のアプローチを行う。 ②年金セミナー担当講師のプレゼンテーション能力向上を目的とした研修等を行い育成を図る。 ③大学等に協力をいただき、構内に国民年金保険料学生納付特例のポスターの掲示およびリーフレットを設置する。 ④大学等に協力をいただき、構内で学生納付特例申請等相談会を開催する。</p> |
| 地域相談事業 | <p>(1) 年金事務所から遠隔のお客様の利便性向上のため出張年金相談を開催する。</p> | <p>①街角の年金相談センター青森（オフィス）に協力をいただき、開催要望のあった市町村において出張年金相談を開催する。 ②市町村、一般財団法人青森県社会保険協会に協力をいただき、広報誌等においてスケジュール等を周知する。</p> |
| | <p>(2) ねんきんネット等を活用した個人向けオンラインサービスの利用を推進する。</p> | <p>①年金事務所の窓口に来所されるお客様に対し、リーフレットを活用したサービスの概要説明および操作案内を行う。 ②出張年金相談、研修、事業所調査等お客様と接触する機会にリーフレットを活用したサービスの概要説明および操作案内を行う。</p> |

○各事業への取組方針

| 事業名 | 取組内容 | 具体的な活動（目標数値・内容） |
|----------------|--|--|
| 年金委員活動 支援事業 | (1) 公的年金制度に関する情報を提供し、年金委員の活動環境を整備する。 | ①年金委員研修および地域型年金委員連絡会を開催し、公的年金制度に関する周知を行う。 ②広報誌、リーフレットおよびホームページを活用した情報提供を行う。 |
| | (2) 年金委員の委嘱拡大を図る。 | ①被保険者50人以上事業所、市町村および教育機関等に対して文書、電話および訪問による勧奨を行う。 |
| | (3) 多年にわたり、政府管掌年金事業の推進・発展に貢献された年金委員の方々に対し、年金委員功労者表彰伝達式を全国健康保険協会青森支部、一般財団法人青森県社会保険協会および青森県社会保険委員会連合会と共同で開催する。 | 【開催日】 令和6年11月21日（木） 【場所】 ホテル青森 |